

あいち環境塾

世界が認める環境・エネルギー先進都市：あいちへ
(あいちリサイクルエネルギー普及・促進)

2011.12.10.

物質エネルギー循環グループ

リンナイ(株)	佐藤 洋
オオブユニティ(株)	藤崎功太郎
中部リサイクル(株)	毛利恵介
フルハシEPO(株)	竹内大樹

我々の描く2030年のあいち

エネルギーは我々の生活になくてはならないもの、経済活動においても安定したエネルギーの確保は最も重要といっても過言ではない。

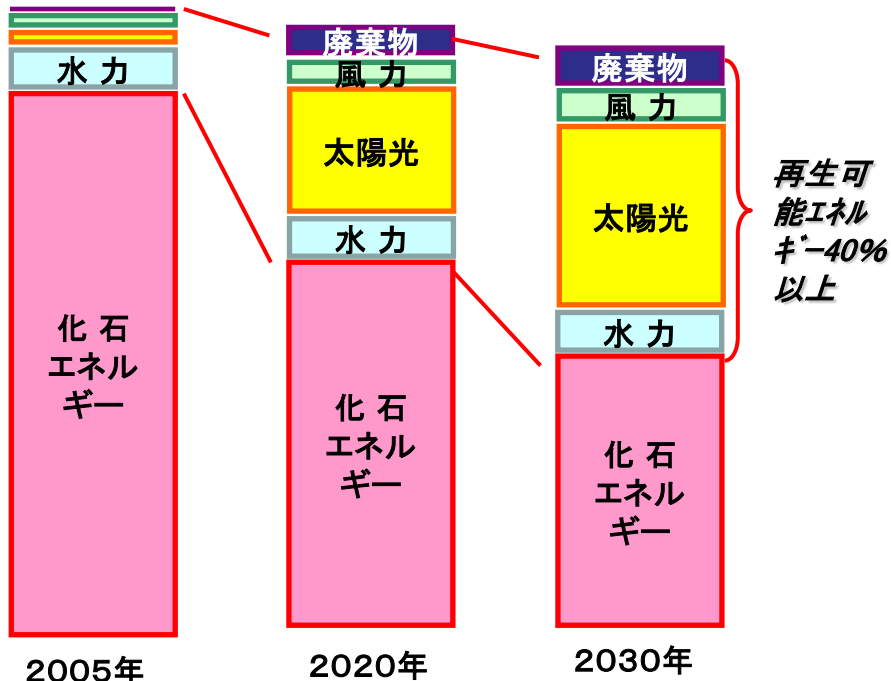
- ・3. 11東北大震災による深刻なエネルギー問題と方向性論議。
- ・エネルギーの化石燃料依存による今後のエネルギー調達コストの上昇。
- ・地球温暖化防止による規制やオフセットクレジットの対応

この問題を解決するには行政だけでなく、県民一人一人が高い意識を持ち、またそれに応える企業発展が必要

世界が認める環境・エネルギー先進都市「あいち」

●必要な対策

- ・再生可能エネルギーの割合増大と多様化
- ・省エネルギー促進
- ・自立型エネルギーシステムの構築



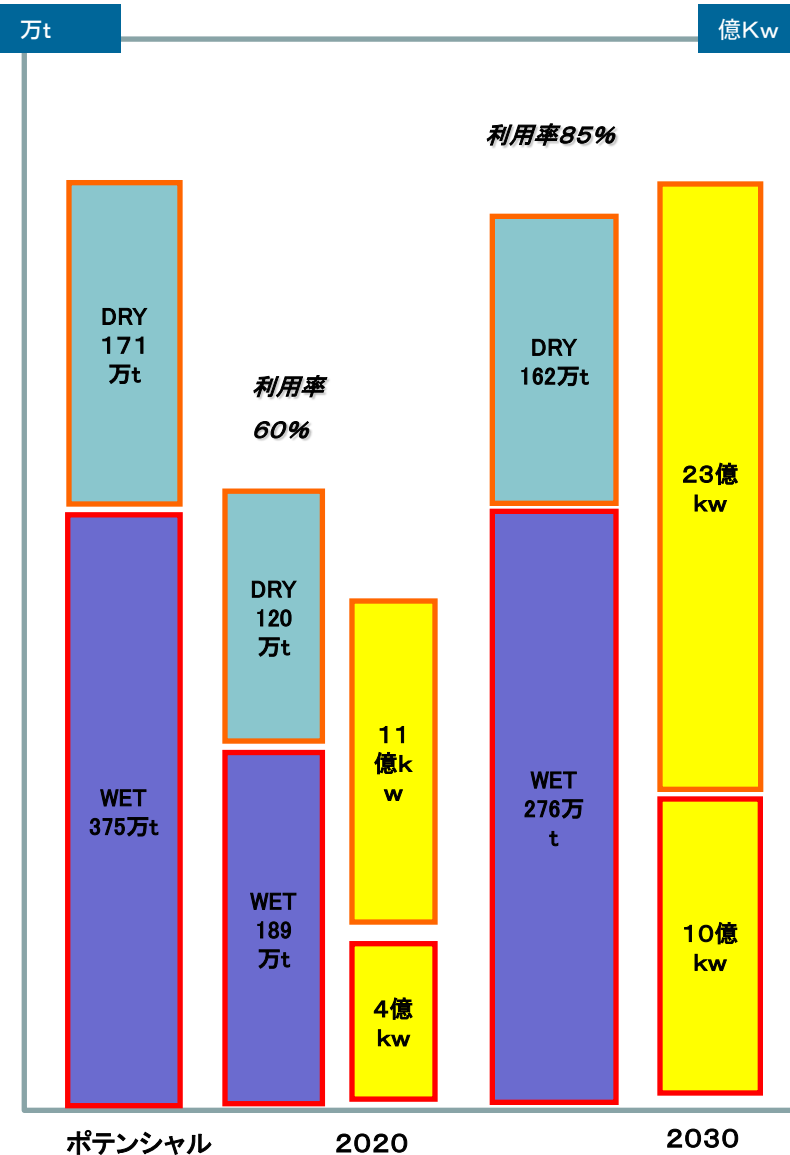
太陽光
水力
風力

自然エネルギーは国の普及促進施策に大きく左右される。水力発電は開発が終わっており、増加見込みは無い。

廃棄物

再生可能エネルギー買取制度から外れている。捨てられているエネルギーの有効利用。地方自治体の廃棄物対策にも有効。

あいちリサイクルエネルギーの賦存量



現状:

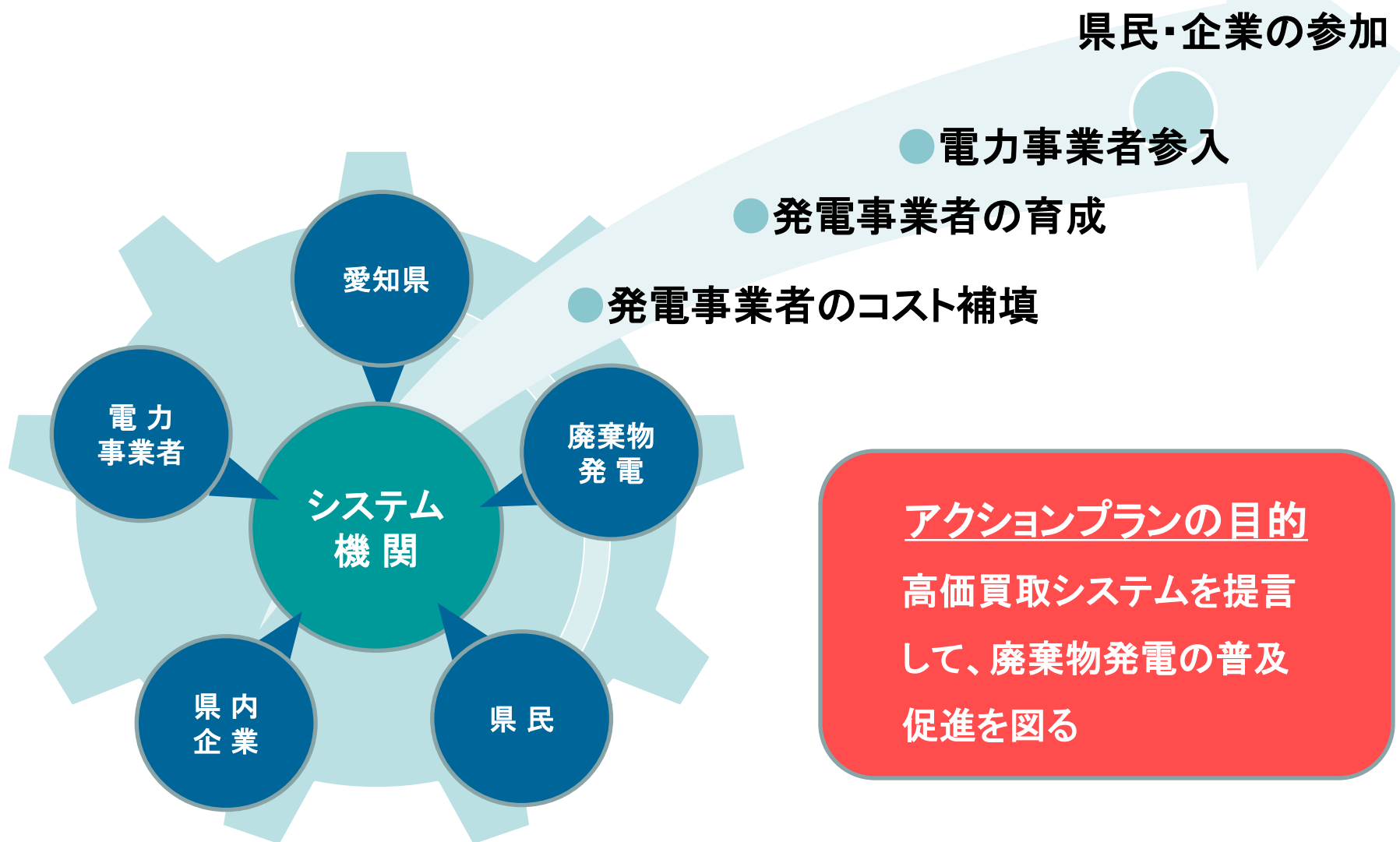
1. 発電コストの採算が合わない。
(行政) 自社削減の発電規模に抑えられている。
(民間) 発電設備のインシヤル・ランニングコストがあわない。
2. 発電効率を考えた施設設備になっていない
(行政) 自治区内処理に原則縛られている
(民間) 大型化資金不足
3. 電力事業者が不安定電源を受け入れる体制や
買取価格のインセンティブを抑えられている。

解決策:

- 発電コストを補填する仕組み
- 分散エネルギーを安定エネルギーにする仕組み
- 発電事業者のビジネス環境の整備

提言

「あいちリサイクルエネルギー買取制度」



県民・企業の参加

● 電力事業者参入

● 発電事業者の育成

● 発電事業者のコスト補填

愛知県

電力
事業者

廃棄物
発電

システム
機関

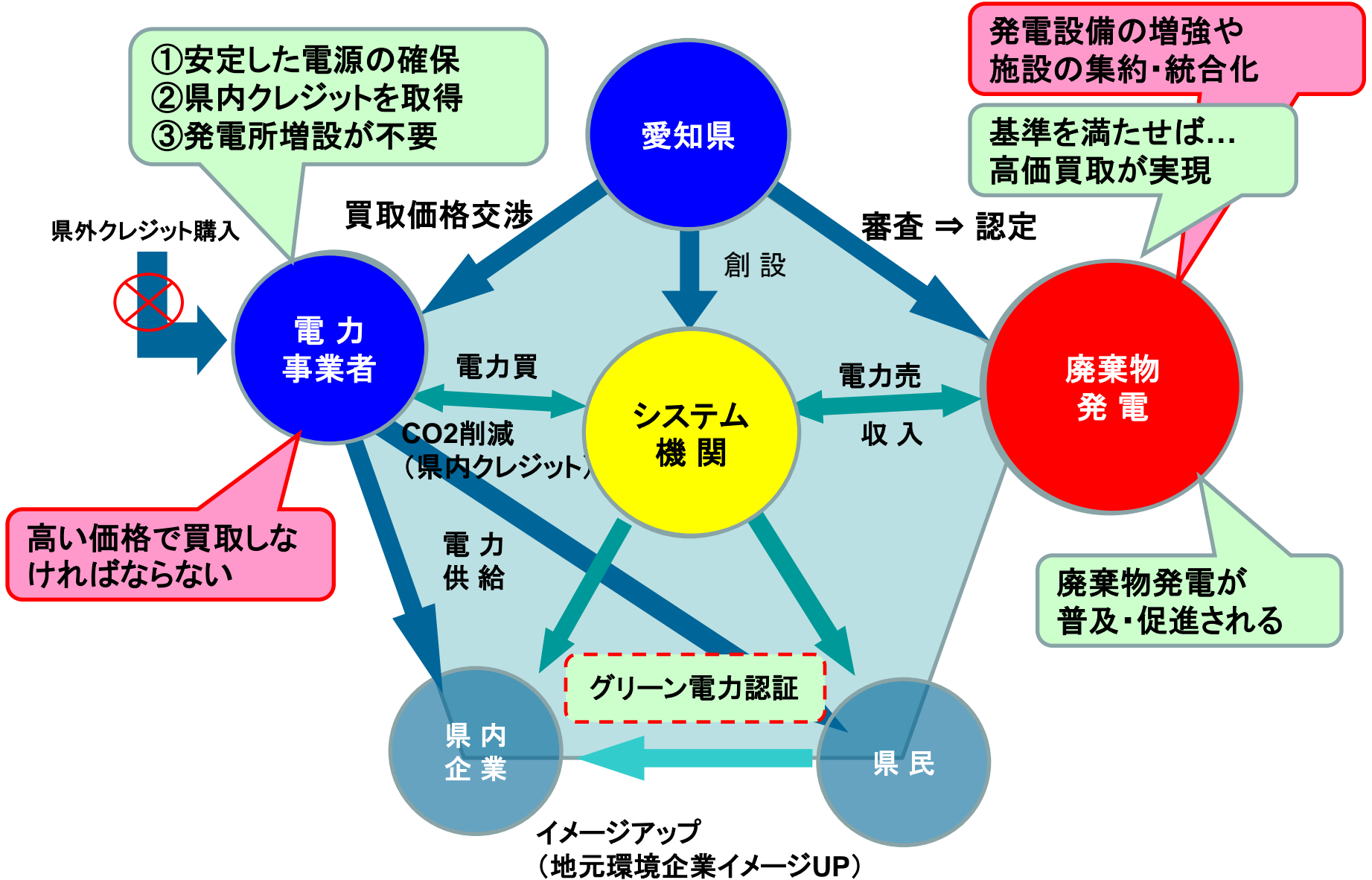
県内
企業

県民

アクションプランの目的
高価買取システムを提言
して、廃棄物発電の普及
促進を図る

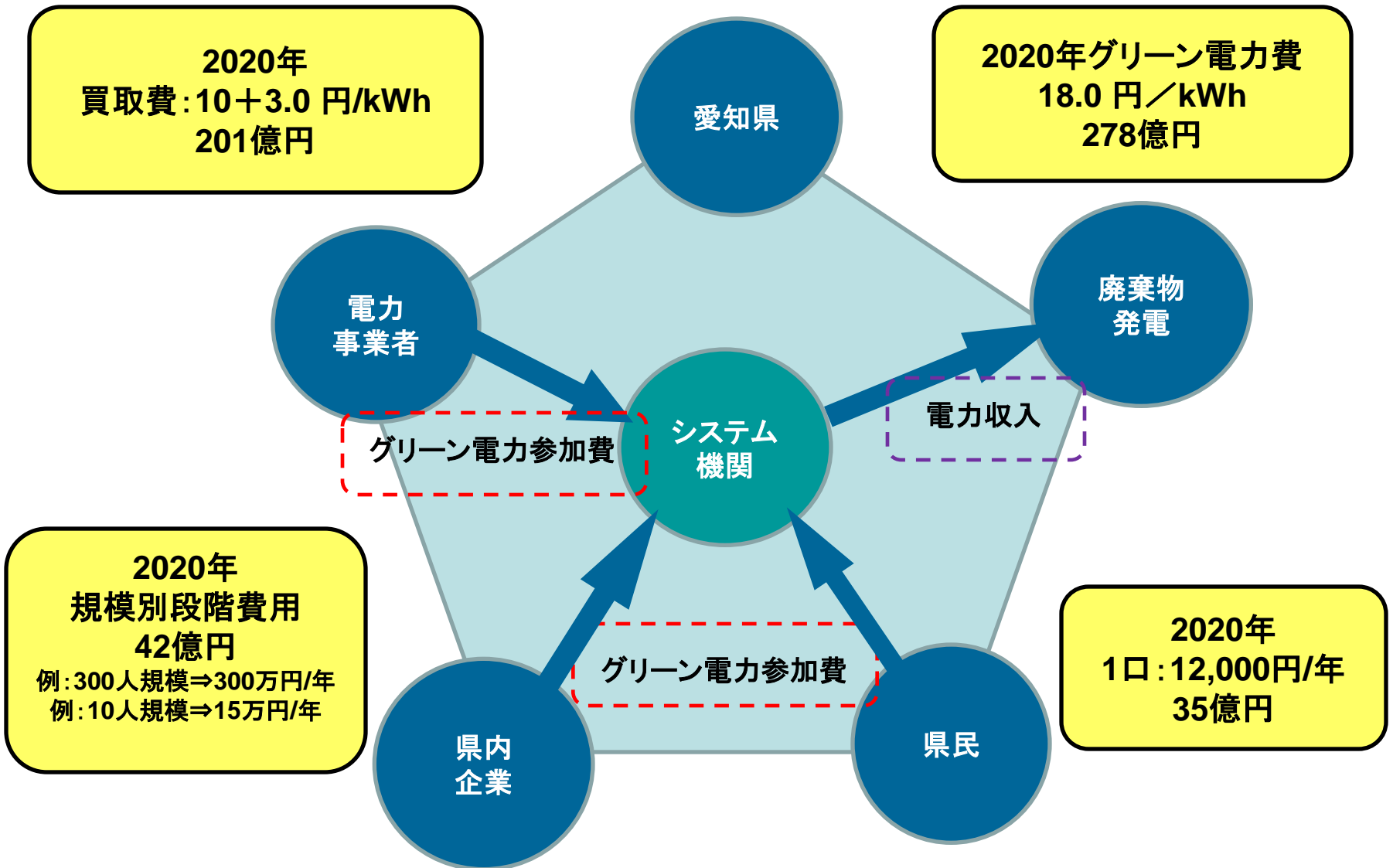
提言実現のためのアクションプラン

●あいちリサイクルエネルギー〔廃棄物発電〕普及・促進に向けたシナリオ



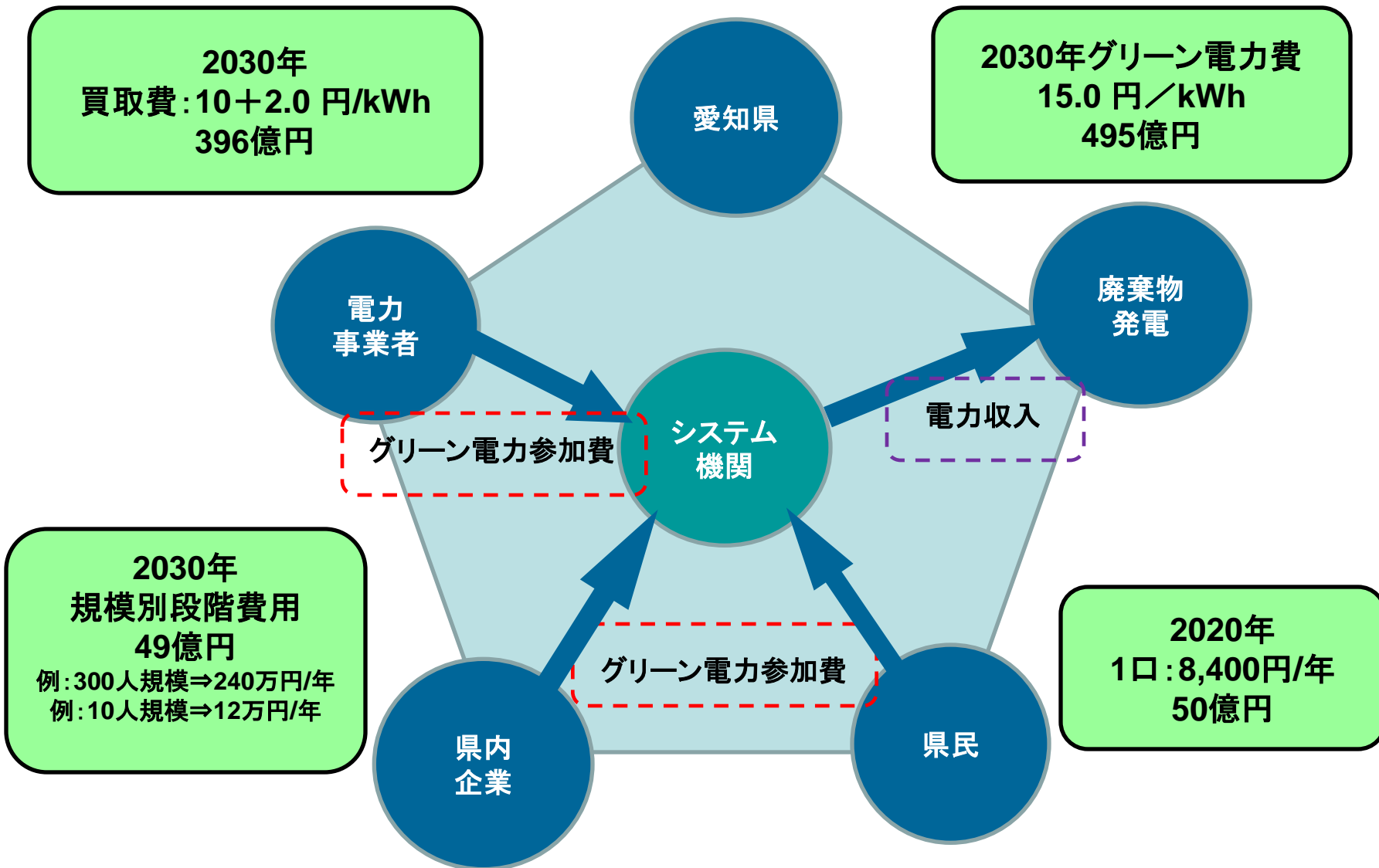
提言実現のためのアクションプラン

●2020年のエネルギー買取費の概要



提言実現のためのアクションプラン

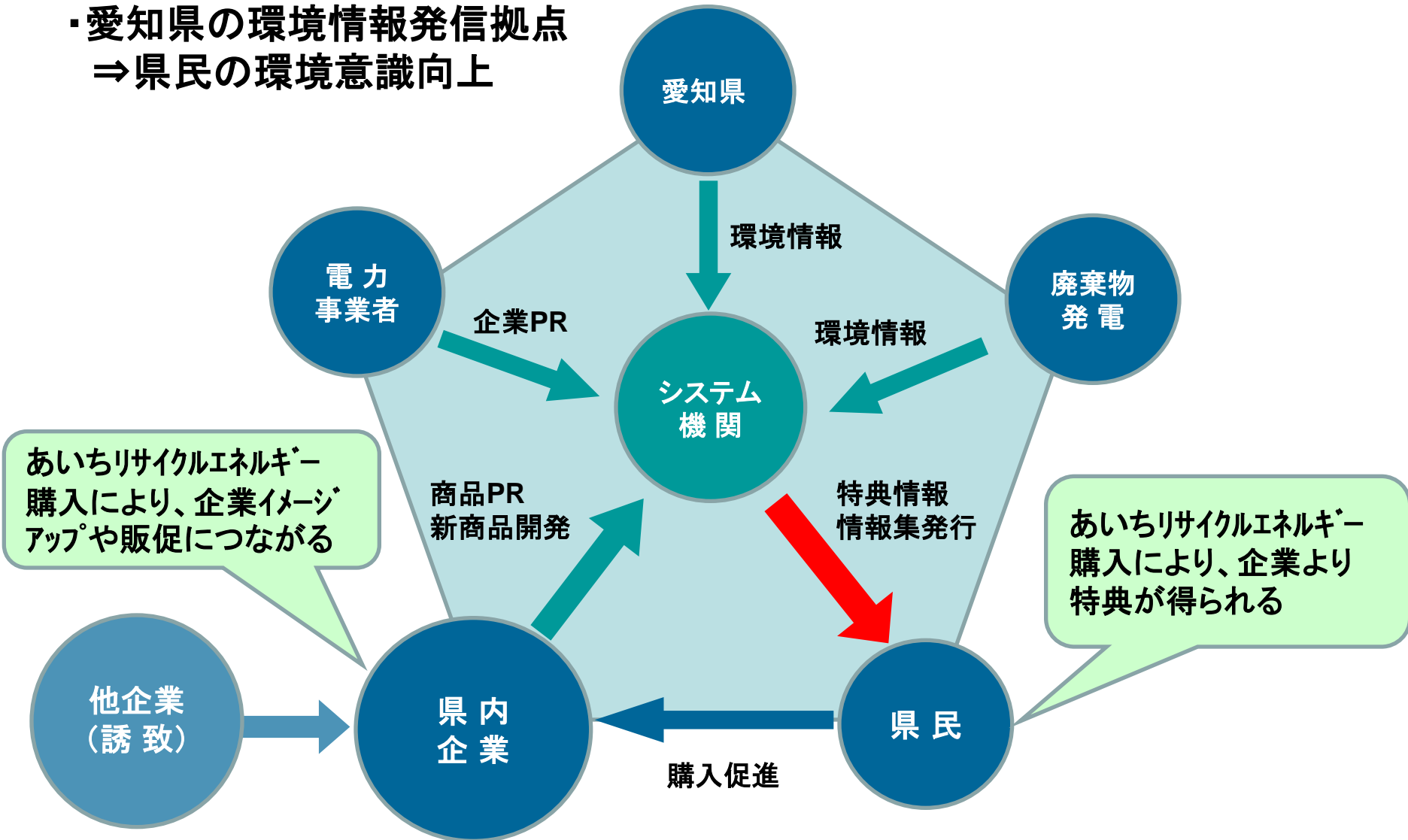
●2030年のエネルギー買取費の概要



アクションプラン実行により得られる 2次効果

●システムを利用した特典(情報ネットワークの有効活用)

- ・県内企業における特定消費者へのPRの場
- ・愛知県の環境情報発信拠点
⇒県民の環境意識向上



波及効果

エネルギー

- ・エネルギーが多様化されエネルギーセキュリティが強固になる。
- ・未利用エネルギーの創出効果が生まれる。

温暖化対策

- ・再生可能エネルギーの割合が上がり、CO2の排出量が削減される。
- ・県内企業の電力使用量あたりのCO2排出量が減らせるため、企業のカーボンオフセットにも有効。

循環型社会の成熟

- ・廃棄物処理施設の大規模化によって、環境対策や周辺対策が進み、イメージアップされる。

県民生活環境

- ・県民による環境施策の加速化
- ・地域サービスの安心安全な持続社会

県内企業環境

- ・環境イメージ向上による企業の付加価値創出
- ・県外企業の誘致による雇用促進

世界が認める環境・エネルギー先進都市：あいち